

平成13年5月14日

第3回日露宇宙協力合同委員会の開催について

1. 第3回日露宇宙協力合同委員会は、5月18日（金）、東京（外務省）において開催される。この委員会は、平成5年に締結された日露宇宙協力協定に基づき開催される。
2. この委員会には、日本側から宮本雄二外務省軍備管理・科学審議官を代表とする関係省庁および機関の関係者が、ロシア側からアレクサンダー・メドベチコフ・ロシア航空宇宙庁副長官を代表とする関係省庁の関係者がそれぞれ出席する予定である。
3. 今回の委員会では、次のことを実施する予定である。
 - (1) 日露両国の宇宙活動について理解を深める。
 - (2) 実施中の協力案件について現状を確認する。
 - (3) 日露宇宙協力を更に発展させるための方策について意見交換を行う。

(参考資料)

1. 経緯

- (1) 1993年10月、エリツィン大統領訪日の機会に、「日露宇宙協力協定」を締結。

- (2) 1998年4月、同協定に基づく第1回の合同委員会を東京で開催。両国の宇宙活動の紹介、意見交換および委員会の運営方法の採択等を実施。
- (3) 同月、川奈首脳会談において「橋本・エリツィン・プラン」の新たな協力分野の一つに宇宙協力を追加。
- (4) 同年7月、キリエンコ首相訪日の機会に、協定の有効期間を5年間延長する延長取極に署名。
- (5) 2000年1月、第2回合同委員会をモスクワで開催。
- (6) 同年9月、森総理およびプーチン大統領が「貿易経済分野の協力の深化のためのプログラム」に署名。宇宙分野も含まれる。

2. わが国とロシアとの間の主な宇宙協力

- (1) 共同磁気圏研究
- (2) ミール利用宇宙実験
- (3) 温室効果ガス監視技術の開発
- (4) 日本人宇宙飛行士の訓練
- (5) 国際宇宙ステーション・ロシアサービスモジュールを利用した宇宙実験（2001年7月（予定）～）